



# Avanzare

Forza

高校インターハイ  
特別企画

2017年 8月号

アバンツァーレの皆さん。このたび夏のインターハイが宮城県で開催されます。

当クラブの卒業生も7月29日に東北学院高校の選手として出場します。現在高校3年生から2年生にあたる選手たちは、前田総監督の指導の下、アバンツァーレジュニア SC 時代を過ごしています。

選手たちは、4年生から3年間一緒に活動しました。今でも思い出すと楽しい経験をした選手たちだと思います。未だかつて経験したことのないことをやってのけたのですから。それが、『7泊8日 遠征』です。

アバンツァーレのSC選手たちは、夏に富山県で開催されている「雷鳥カップ」に毎年参加しています。

この大会は「真全国大会」とも呼ばれる全国大会出場経験のある強豪チームが勢揃いします。その大会が遠征のスタートでした。真夏炎天下の中で2泊3日を戦いぬきます。

その後、大会日程終了後、山形県に移動し参加した大会は6年生が対象となり(当時は5年生)出場するものでした。それでも選手たちは、戦い全体の3位トーナメントにのこり3位という結果を残しました。その後、秋田県でのアバン合宿に合流し強化練習の全日程を休まずやりきったのです。

7泊8日という過酷な日程を乗り越えたチームは結束力が強まりました。メンタル的な強さも身に着け一回り二回りも成長しました。総監督と遠征先でのチームでの生活を大切にしました。チームのことを考えた行動、自分でできることは自分で。サッカーでは急がず時間をかけて選手全員とミーティングを繰り返し、試合を繰り返し、強いサッカーを目指しました。

また、人間性で繋がっているのを象徴するように選手が主体的に話し合い、試合中でも自分の判断を持ってプレーできる選手となりました。全国には行けませんが、最後まで素晴らしいサッカー、素晴らしい活動を後輩たちに見せてくれた選手たちでした。

そして、現在の選手たち、下記に紹介していきますが、ぜひ小学生の写真と現在のたくましい姿をご覧ください。選手からコメントも届きました。アバンツァーレスクール生、SCコースのみんな、そしてSC活動を考えているけれど体験するか迷っているみんなもぜひ読み進めてください。ジュニアコース選手みなさんにも同じ時期活動した選手もいますし、東北大会出場への激励の言葉もいただいているので、読んでみてください。



## 前田 吉里 くん (まえだ よしさと)

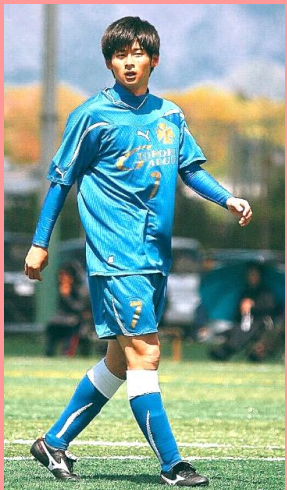


アバン歴 8 か 9 年  
卒業後、中高東北学院サッカー部  
中学は中1からAチームに。  
高校は高1からAチームに。  
苦労したのは体が小さかったこと。  
そのために筋トレや食事の量を増やした。今もまだまだ小さいから色々工夫はしている。

- 小学生へ→パスとかシュートよりドリブル!
- 中学生へ→自分の持っている武器を伸ばし続けて頑張ってください。
- インターハイへの意気込み→チャレンジ精神を忘れずアバンで学んだドリブルを存分に発揮しゴールを決めチームを勝利に導きます!

7泊8日の合宿では、正直キツかったけど自分達よりも格上の相手ともたくさん試合ができるしその相手から得るものというのはたくさんあったと思う。

選手コースでは、いつも以上にサッカーの楽しさというものを知れるし質の高い練習ができてすごいためになると思うので頑張ってください。



## 岸本 渉 くん (きしもと わたる)



アバン歴は、幼稚園から小6まで。  
一番悔しい思い出は、全少宮城県予選トーナメント2回戦で亘理に負けたこと。  
亘理のチームは震災で仲間を亡くしたメンバーの為に勝利を誓っていたようです。その強い気持ちに負けました。

東北学院中高サッカー部入部当初、コミュニケーションが取れなくて、サッカーに打ち込みきれなかったときもありました。練習後のストレッチ、ケアをさぼって、肉離れが癖になり、中学のリーグに出場出来ない悔しい思いもしました。順調なことはかりではありませんでした。

アバンから学院まで一緒にの吉里、これまで一緒に戦って来たメンバーと7月29日から始まるインターハイに出場します。

一回戦は浦和西高校。関東とのレベルの違いはアバンの頃から知っているのですが、初戦勝利を飾るのは簡単じゃないです。格上ですが気持ちを強く持って挑みたいと思っています。

アバンでの練習、1週間遠征、合宿、他チームに負けない位の経験をしました。

総監督、コーチありがとうございました。

中学、高校と全国レベルを経験出来ることに感謝です。みんなにもチャンスがあるので、一戦一戦を大事に頑張ってください。







## 片柳 翔吾 くん (かたやなぎ しょうご)



仙台商業の片柳 翔吾です。  
 高校の入学前の春休みからスタメンで、高校選手権の決勝戦にフル出場しました。  
 アバンには、小4から小6まで所属してました。遠征に何度も連れて行ってもらい、チームメイトと切磋琢磨してきました。  
 しかし、夢である全国大会に出ることが一回もありませんでした。それが、悔しくてさらに刺激を求めて中学はFCみやぎに行きました。  
 FCみやぎでは、初めての大会で骨折をして出場できず、クラブユースでは、東北大会まで出場しましたが、全国大会を逃しました。  
 高校は、兄が通っていた仙台商業。早くから試合に出してもらい高校選手権では、準決勝で総体王者仙台育英を延長で破り決勝に進みました。決勝では、2連覇している聖和学園とやり負けました。  
 アバンで学んだことは、練習や、試合で苦しい時に思い出します。



総監督やたくさんのコーチありがとうございます。アバンのみんな、チーム全員で一つ一つのプレーを大切に頑張ってください。

## 渡部 優太 くん (わたなべ ゆうた)



僕は小学校一年生の時にアバンのスクールに入り、2年生の時にSCに入りました。  
 スクールの練習の際に前田総監督に選手コースに誘っていただき、SCに入りました。  
 SCに入り、一週間遠征に行ったり、さまざまな大会に出場したり色々なことを経験しました。  
 嬉しかったことも楽しかったこともたくさんありましたが苦しいことも悔しかったこともたくさん経験しました。  
 でも、その経験は今のサッカー人生でも糧になっていると日々感じています。みんなで目指してた全国大会には出場できませんでしたが、それ以上にアバンで過ごした6年間は今もこれからもかけがえない思い出です。



僕は中学ではFCみやぎに入り、今は仙台育英でサッカーをしています。  
 前田総監督やコーチの皆さん、そして仲間には今も本当に感謝しています。  
 だからスクールやSCに在籍している皆さんは監督、コーチ、仲間を信じて努力してください。必ず結果はついてくると思います。  
 今一緒にサッカーしている仲間とサッカーができるのは今だけです。中学生に進学すればみんな離れ離れになってしまいます。だから今を大切に仲間と互いに支え合って全力でサッカーと向き合ってください。  
 これから辛いことや苦しいこともあると思いますが、すべての人への感謝を忘れずにサッカーを楽しんで、悔いが残らないように頑張ってください！これからも応援してます！

## 柴崎 竜輝 くん (しばさき りゅうき)



ジュニアユースのみなさん、東北大会出場おめでとうございます！  
 自分は一度区切りをつけ必死に受験勉強しています(笑)ひと段落したらテクニカルスクールにお邪魔させていただきます。  
 アバンツァーレの小学生の皆さん、自分は小学生の時、2年間プレーしました。  
 当時、総監督に何度も遠征に連れて行って頂き、全国レベルとの差を感じては練習を繰り返したり、普段のスクールで存分にドリブルをやらせてもらい、とても密度の濃い最高の2年間を過ごせました。  
 中学生となり更にレベルの高い環境でやるようになってからは何度も挫折を味わいました。そこで心の支えになったのはアバンの仲間とどんなにきついことも乗り越えてきたことです。このクラブで身につけたことは決して無駄にはならないしその先も通用します。



年代が上がるに連れて当然求められる質が上がり、やらされるプレーも多くなってきますが、そんなことは後からどうにでもなるので、今は心底サッカーを楽しんでください。  
 ちょっと難しいですが、大きな目標を掲げてそれを達成するために何をやる必要があるのか逆算して練習に取り組みは確実に上手くなります。最近気づきました(笑)  
 最後に、コーチ陣への感謝を忘れずにアバンツァーレという素晴らしい環境でサッカーできることに喜びと誇りを感じてプレーしてください。  
 テニスボールリフティング1000回の記録はまだ塗り替えられていないようなのでそのままお願いします(笑)

## 加藤 ゆあ (かとう ゆあ)



今回、紹介できなかった選手で、インターハイに出場すると常盤木学園サッカー部の加藤 ゆあ選手。  
 現在は寮住まいのためインタビューできませんでしたが、ドリブルのキレ、戦う姿勢が素晴らしい選手です。代表入りも楽しみな選手です。

## 菊地 海人 (きくち かいと)



代表決定戦で惜敗しましたが、東北高校で活躍している菊地海人くん。  
 スピード、身体能力が持ち味の強い選手。今後の活躍に期待です。

## 鶴岡 響 (つるおか ひびき)



アバンツァーレジュニアユースまで在籍し、アバンの頼れるキャプテンとして活躍。  
 文武両道の選手。仙台一校でも主力選手として活躍しました。今後の活躍も楽しみな選手。

## 須藤 舜司 (すどう しゅんじ)



左利きのドリブラー。懐深く独特の感性を持った選手でキックも素晴らしく、ジュニアユースでも活躍しました。城南高校でベスト8でした。

## 編集後記

今回、特集にあたりOB みなさんのご協力をいただき、クラブとして感謝しております。  
 アバンツァーレ現会員のみなさん、スクール生、選手コース、ジュニアユースの皆さん。今、高校生として活躍する選手の中には皆さんと同じく、アバンツァーレで活動していた選手がたくさんいます。  
 事情があって紹介できなかった選手もいます。今、練習している練習場で活動していたのです。  
 OBのアバンで経験したことや現在の活動を知ること、サッカーを心から楽しみ、仲間や家族に感謝しながら練習していきましょう。